

こっこめ通信 10 2024

「探したけどダメだった」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

7月・8月と降水量が少なかった分が9月に降ってしまったかのように、9月は613.0mmと降水量がとても多かったです。特に27日から28日にかけて前線の活動が活発になり、28日夜には八丈町に土砂災害警戒情報が発表され、自主避難所が開設されるほどでしたが、大きな被害はありませんでした。

さて、今回は「秋の渡り鳥を探そう」「ウミガメの上陸記録」についてのお話です。

秋の渡り鳥を探そう

9月28日、八文学講座「秋の渡り鳥を探そう」を開催する予定でした。しかし、八丈島は前日より大雨が続き、大雨警報と雷注意報が発令され、時よりバケツをひっくり返したような雨も降ることから、中止といたしました。(実施予定の時間帯は雨が降らず、開催できたかもしれません。申し込みされた方には申し訳なかったです)

八丈島での秋の渡りは、年により種数や飛来数にかなりのばらつきがあります。この行事を企画した時はたくさんの鳥が渡ってくることを期待したのですが、今シーズンは9月末までは、種数少なめ、飛来数少なめとなっています。そんな中、行事の下見を兼ねて、何度か調査を行いましたので、確認できた鳥たちを紹介します。

ツバメチドリは1羽だけでまだ幼鳥のような面影でした。エリマキシギは毎年1羽は渡ってきます。コガモも常連さんで、10羽前後の群れが多いです。今回は、渡ってきたばかりのようで小さな水溜まりに9羽で休んでいました。オジロトウネンは島での記録がありましたが、八丈ビジターでは初確認です。アメリカウズラシギは2021年以来の飛来で、ビジターの記録では4回目です。ツメナガセキレイは2羽確認しています。



他にビジターで確認しているのは、オナガガモ、カルガモ、コガモ、クロハラアジサシ、クロサギ、バン、メダイチドリ、ムナグロ、トウネン、ヒバリシギ、タカブシギ、イソシギ、キョウジョシギ、アオアシシギ、キアシシギ、チュウシャクシギ、タシギ、チュウジシギ、セイタカシギ、チョウゲンボウ、ヤツガシラ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイなど。調査不足でまだまだ確認できていない種があるかもしれません。(H.T.)

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ウミガメの上陸記録

7月12日の朝。島民の方から「昨夜、犬の散歩をしていたら陸にウミガメが上陸していました！」との情報があり、その日に確認に行きました。

場所は底土海水浴場からキャンプ場に向かう途中、海に下りる階段がある脇でした(右衛星写真)。過去に底土周辺で、何度かウミガメの上陸がありました。全て「T棧橋」と呼ばれる棧橋よりも底土側でした。

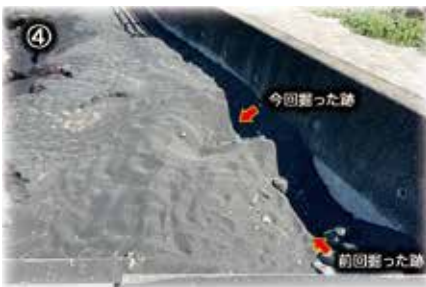


7月12日に確認した上陸場所のウミガメの足跡は、朝方に雨が降ったこと、また、人が歩いた足跡により不鮮明になっていました。産卵しようと掘った場所は階段の直ぐ脇にあり、上陸は底土側から砂浜に上がり、歩道下のコンクリートに沿って歩いてきたのがなんとなく分かりました。(写真下①②③) ③の画像は少し歩いた跡が分かります。ウミガメの足跡は、お腹が通った跡は平坦で、その両側は進む時に脚で掘った跡ができます。写真では、右上から中央に向かって見えます。

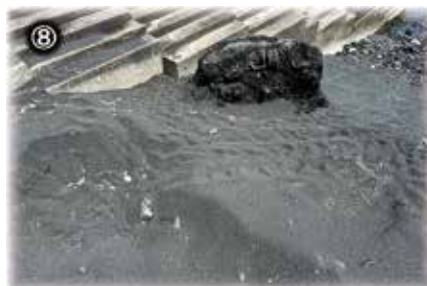
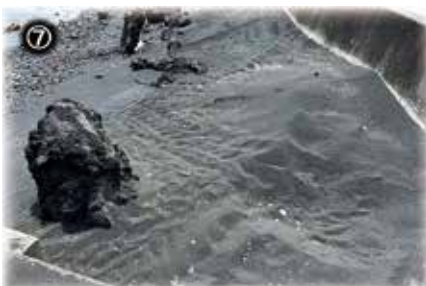
ウミガメの上陸は八丈支庁港湾課に連絡し、今回は特に柵などは設置せずに様子を見ることとしました。



その後、波がどこまで上がるか気になり、何度か様子を見に行っていました。そして、7月30日に新たな上陸跡を見つけました。(写真下④⑤⑥) 前回の穴よりも底土側に2mほどの場所でした。今回は足跡が残っていたので、穴を掘った後にそのまま海に向かったことが分かります。⑥は右から左への足跡がはっきり確認できます。足跡の様子から上陸したのは「アオウミガメ」ではないかと思われます。



さらに二日後の8月1日、7月30日の足跡とは違う足跡があることに気がつきました。(写真下⑦⑧⑨) ④と⑦を比べると違った足跡があるのが分かります。⑨の場所では蛇行しながら歩いた跡も分かりました。



結果、この夏は3回の上陸があったことになります。産卵から60日前後が孵化とのことで、9月26日に状態を見るため掘り起こしてみました。残念ながら砂の層は薄く、40cmほど掘ると直ぐに岩が出てきてしまいました。3回の上陸がありましたが、今回は産卵できずに海に戻って行ってしまったようです。

砂浜が無い(あるいは浅い)八丈島でウミガメが産卵するのは難しいのかもしれない。(H.T.)

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、3名の参加者+スタッフ2名で開催しました。相変わらず高い気温の中、日陰を選び、シダ植物19種類を含む71種類の植物を観察しました。前回の調査会から雨が降ってくれたので植物達も復活しているようでした。季節外れの開花も見られ異常気象の影響も感じられました。そんな中、沢山の花や実をつけた植物達には強い生命力を感じます。ガジュマル池の前ではノウタケが孢子を飛ばし次につなげようと頑張っていました。(M.O.)

八丈植物公園季節調査 2024年9月8日(日)、天気：晴れ、気温：30.6℃

調査者：木下、西喜、茂手木、VC：沖山、高須

1	ヤブニッケイ	葉、若実						
2	タコノキ	気根の長さ 52.0cm、太さ 11cm、実						
3	オオタニワタリ	最長丈 110.0cm (17.5cm 先端が切れている)、幅 16.5cm						
4	ニオイウツギ	実、葉						
5	ニオイバンマツリ	花沢山、蕾沢山、葉						
6	オオシマザクラ	葉 (サクラクワガタハバチによる食害)、枝先枯れ						
7	アオツツラフジ	花	29	スダジイ	実	51	ヤブツバキ	実
8	アオノクマタケラン	実	30	センダン	実			
9	アカメガシワ	雄花	31	タチスズメノヒエ	花	シダ植物		
10	アシタバ	花	32	タマスダレ	花	1	アマクサシダ	
11	アベリア	花	33	ツルボ	花	2	オニヤブソテツ	
12	アメリカスズメノヒエ	花	34	テイカカズラ	蕾	3	カニクサ	
13	イワニガナ	花	35	テリハノブドウ	実	4	タチクラマゴケ	
14	ウスベニニガナ	花	36	テンツキ	花	5	タチシノブ	
15	ウリクサ	花	37	ナガエコミカンソウ	実	6	タマシダ	
16	オオムラサキシキブ	実	38	ノシラン	花・実	7	ナチシケシダ	
17	ガクアジサイ	実	39	ハイビスカス	花	8	ノキシノブ	孢子嚢
18	ガジュマル	実	40	ハゼノキ	実	9	ハチジョウカナワラビ	
19	キツネノマゴ	花	41	ハチジョウキブシ	花芽	10	ハチジョウシダ	
20	クルマバザクロソウ	実	42	ヒナギキョウ	花	11	ヒトツバ	孢子嚢
21	コニシキソウ	実	43	ヒメユズリハ	実	12	ヘラシダ	
22	コミカンソウ	実	44	ブーゲンビリア	花	13	ホシダ	
23	サカキカズラ	実	45	ヘクソカズラ	花	14	ホラシノブ	孢子嚢
24	シチトウエビヅル	実	46	ベニフデツツアナス	花	15	マツバラソ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、移入種の「クサガメ」にスポットを当ててみたいと思います。



クサガメ

Mauremys reevesii

イシガメ科イシガメ属。国立研究開発法人国立環境研究所によれば「本州・四国・九州のものはかつて自然分布と考えられていたが、18世紀末に移入されたと考えられている」と記載があります。現在は、北海道や沖縄でも確認されているようです。

八丈島でも移入種として持ち込まれたものが繁殖しています。植物公園内のバードサンクチュアリの池でも確認しています。

2024 10

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	● 3	4	5 ガイドウォーク
		04:09 10:22 16:41 22:40	04:45 11:45 18:05 23:57	05:19 11:16 17:14 23:27	05:53 11:43 17:32 23:53	06:28 12:09 17:52
6 ガイドウォーク	7	寒露 8	9	10	☾ 11	12 ガイドウォーク
07:03 12:34 18:11 00:21	07:40 12:58 18:31 00:50	08:22 13:21 18:50 01:23	09:21 13:44 19:09 02:02	11:09 14:13 19:31 02:54	13:55 16:54 19:56 04:12	14:35 20:18 23:55 06:02
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14 ガイドウォーク	15	16	○ 17	18	19 ガイドウォーク
07:34 15:02 20:47 00:15	01:48 08:36 15:28 21:18	02:57 09:24 15:54 21:51	03:53 10:06 16:19 22:25	04:45 10:45 16:44 23:01	05:35 11:21 17:09 23:37	06:24 11:54 17:33
20 ガイドウォーク	21	22	霜降 23	☾ 24	25	26 ガイドウォーク 八文学講座 「秋の虫を探そう」
07:14 12:24 17:57 00:15	08:06 12:52 18:22 00:55	09:05 13:18 18:46 01:39	10:29 13:42 19:10 02:27	19:25 03:27	14:13 04:49	14:34 06:29 20:40
27 ガイドウォーク	28	29	30	31		この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります
01:12 07:44 14:52 21:00	02:26 08:34 15:09 21:21	03:17 09:13 15:26 21:44	03:58 09:47 15:45 22:08	04:36 10:18 16:05 22:33		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
10 / 13 (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八文学講座 「秋の虫を探そう」

毎月行っている八文学講座。ホテル水路周辺でコオロギやカマキリ、トンボなどを探しましょう！
10 / 26 (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 いずみ親水公園駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日、祝日及び休日、(10:30 ~ 約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

- 10:00 ~ 八丈・海・生きものたち
 - 11:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
 - 14:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
 - 15:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
 - 16:00 ~ 八丈・海・生きものたち
- 上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2024.10.1 第281号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

必ず渡ってくるわけではない渡り鳥の行事を企画するのはとても勇気が必要です。過去に南原スポーツ公園に何十羽ものシギチが渡ってきた記憶が忘れられないのです。マガンやヒシクイも期待したのですが空振りでした。来年も企画するべきか？既に悩んでいます。(H.T.)